

天沼小だより

文責

校長 大里 忠弘



嬉しい学校再開

うれしいです。1日、2日と半分ずつにはなりましたが、子どもたちの笑顔と笑い声が校内にあふれています。これまでの遅れをどう取り戻すのか、不安も課題も尽きませんが、一日も早く、日常を取り戻せるよう学校職員一同最善をつくしてまいります。

臨時休校中は、家庭学習の課題への対応等、保護者の皆様には大変お世話になりました。

学校が再開したとは言え、分散登校の段階です。新型コロナウイルス感染症の完全な収束に向けて、細心の注意が必要な状況に変わりはありません。児童を一堂に集めることは避け、校内放送による学校再開の集会をしました。校長からは、次のような内容で話をしました。

校長のはなし

子どもが一人もいない、寂しい天沼小学校でしたが、今日から皆さんの元気な笑い声が学校中に響いています。先生たちはもちろん、校舎も、廊下も、窓も、喜んでいきます。

さて、今日は私の尊敬する東井義雄先生の詩を紹介します。

（「小さな勇気をこそ」を朗読）

ようやく学校が始まりました。授業があります。いよいよ学校が始まります。

授業で発表したいけど、はずかしいな、間違えたらどうしよう、と勇気が出ないこともあるでしょう。

困っている友だちに声をかけてあげる勇気が出ないこともあるでしょう。

いけないことをしている友だちに注意をする勇気が出ないこともあるでしょう。今日から小さな小さな勇気をたくさん見つけましょう。今日は、これができた。今日は、これができなかったけど、明日は頑張ってみようかと思う。

天沼小学校の子どもたち一人一人の小さな勇気をたくさん見つけたいと思います。校長先生の見えないところで、勇気を出せることもあるでしょう。どんな勇気を出せたか、教えてくれる人がいたら、いつでも校長先生にところに来てください。小さな勇気がたくさんあふれる天沼小学校にしましょう。

小さい勇気をこそ

人生の大嵐がやってきたとき
それがへっちゃらで乗りこえられるような
大きい勇気もほしいにはほしいが
わたしは
小さい勇気こそほしい
わたしの大切な仕事をあとまわしにさせ
忘れさせようとする小さい悪魔が
テレビののスリルドラマや漫画にばけて
わたしを誘惑するとき
すぐそれがやっつけられるくらいの
小さい勇気でいいから
わたしはそれがほしい
もう五分くらいねていたっていいじゃないか
けさは寒いんだよ
あたたかい寝床の中にひそみこんで
わたしにささやきかける小さい悪魔を
すぐやっつけてしまえるくらいの
小さい勇気こそほしい
明日があるじゃないか
明日やればいいじゃないか
今夜はもう寝るよと
机の下からささやきかける小さい悪魔を
すぐやっつけてしまえるくらいの
小さい勇気こそほしい
紙くずがおちているのを見つけたときは
気がつかなかったというふりをして
さっさといっちなまえよ
かぜひきの鼻紙かもしれないよ
不潔じゃないかと呼びかける
小さい悪魔を
すぐやっつけてしまえるくらいの
小さい勇気こそわたしはほしい
どんな苦難ものり切れる
大きい勇気もほしいにはほしいが
毎日小出しにして使える
小さい勇気でいいから
それがわたしは
たくさんほしい
それに
そういう小さい勇気を軽蔑しては
いざというときの
大きい勇気もつかめないのではないだろうか。



登校日の2日間は、急遽、地区委員の皆さんが旗振りに出てくださいました。ありがとうございます。



学校到着後、先ずは手洗いをします。石けんで洗い流すことで、ウイルスを除去できます。



登校時に混み合うのが集中玄関です。ソーシャルディスタンスを保ちます。



教室に入る前に体温チェック。毎日の家庭での検温も続けてください。日常の平温確認がとても大切です。



教室でも、机の間隔を広めにしています。感染予防に心がけ、分散登校から全員登校に、そして、午後の授業の再開と、順調に学校再開が進むよう教職員一丸となって取り組みます。